

## ◆肺ドックのご案内◆

当院では肺がんをはじめとする呼吸器疾患の早期発見・早期治療のために肺ドックを実施しております。

◆ 肺がんは、日本人のがん死亡のトップです。

肺がんは、日本において罹患率、死亡率ともに急激な増加を見せている疾患の一つで、1998年からは胃がんを抜いてがん死亡の第1位となっています。

その理由として、肺がんは多くの場合で無症状のうちに進行すること、さらに胸部X線写真では検出困難なことも多く、早期発見が困難であることなどがあげられています。

◆ 当院では「マルチスライスヘリカルCT検査」「喀痰細胞診検査」「腫瘍マーカー」を組み合わせた肺ドックを行っています。

CT検査は、胸部X線写真と比べて解像力に優れ、しかも死角となる領域がありません。

当院の肺ドックで用いるマルチスライスヘリカルCTは従来のヘリカルCTに比べ検査時間の短縮をはかることができ、放射線被曝量も通常の胃がん検診より低いレベルで行うことが可能です。

(当院の肺ドックでは、低線量CT肺がん検診のガイドラインに準拠した撮影条件を用いて検診を行っています。)

喀痰細胞診検査は、喀痰中のがん細胞を顕微鏡で見つける検査で、喫煙者に多い太い気管支に好発するタイプの肺がんの発見に有効です。

腫瘍マーカーは、がん細胞により作られる血液中の特殊な物質を検出する検査法です。

当院ではCEA、シフラ21-1、ProGRPを測定しています。

◆ 肺がん以外の疾患の発見にも有効です。

肺気腫や結核などの呼吸器疾患、大動脈瘤、縦隔腫瘍などの発見にもCT検査は有用です。

◆ 特に、「タバコを吸われている方」「過去にタバコを吸っていた方」にお勧めします。

自覚症状がなくても、肺は定期的なチェックが必要ですが、次のような方には特に検査をお勧めいたします。

- 40歳以上で喫煙歴20年以上
- 1日の喫煙本数×喫煙年数が600以上
- ヘビースモーカーと同居している
- 咳や痰が続く
- 血痰がでたり、胸痛がある
- 仕事でアスベスト(石綿)を扱ったことがある

1. 検査項目 胸部CT、喀痰細胞診、血液検査(CEA、シフラ21-1、ProGRP)
2. 検査結果 2~3週間以内に郵送いたします。
3. 申し込み 事前予約